

Article 表紙解説

—アトム ザ・ビギニング—

Cover Comment: ATOM THE BEGINNING

三宅 陽一郎
Youichiro Miyake

株式会社スクウェア・エニックス
SQUARE ENIX CO., LTD.
y.m.4160@gmail.com

Keywords: robot, artificial intelligence, ATOM THE BEGINNING.

1. はじめに

今年度から毎号、人工知能にちなんだイラストをそろえることで、多彩な表紙を楽しんでいただく企画を開催しています。7月号の表紙は、4月から

TV 放映されております、アニメーション「アトム ザ・ビギニング」(総監督: 本広克行, 監督: 佐藤竜雄, プロジェクト企画協力・監修 手塚眞, アニメーション制作 OLM × Production I.G ×

SIGNAL.MD) から、キャラクターデザインの吉松孝博様に素晴らしいイラストレーションを描いていただきました。

特集テーマの一つが「広告と人工知能」ということで、中央には未来の宙に浮くデジタルサイネージが描かれています。中央にはくっきりと人工知能の文字が浮かび上がっています。澄みわたる青空は、来たるべき新しいロボット時代の若々しく楽観に満ちた明るい未来を示しているようです。「これからいっちょ世界を驚かしてやろうか」という意気込みが感じられる二人の天才科学者・天馬とお茶の水が描かれた、「人工知能学会誌」の表紙にふさわしい素晴らしいイラストになっています。

2. 物語

「アトム ザ・ビギニング」は、「鉄腕アトム」でおなじみの、天馬午太郎博士(画面左)、お茶の水博士(画面右)の若かりし野心に満ちた学生時代を描く作品です。正確に言うと、博士になる前の学生時代となります。随所にロボットの身体と、人工知能の描画が見られ、ロボットと人工知能が社会に受け込もうとしている時代の息吹が感じられる作品です。まさに今観るべき物語となっています。A106(中央奥右)と呼ばれる最新の成果をつぎ込んだシリーズの最新機をめぐって、ロボットの未来を開こうとする人間達が奔走します。アトム誕生までに彼らはどのような軌跡をたどって来たのか、辛くも楽しい学生時代を背景に、ロボットと知能の探究が進められます。



図1 7月号表紙。
作画: 吉松孝博, 色彩設定: 田中美穂, 背景: ととにゃん, 特殊効果: 村上正博,
撮影: 佐藤哲平

今回特別に、吉松孝博様からコメントをいただいています。

「今回アトム ザ・ビギニングのイラストを描かせていただきましてありがとうございます。自分はアニメの仕事始めて30年以上たちますが、近い将来人工知能のアシストを受けての作画ができるようになると良いのになぁと思います。アニメの絵を描くことは反復につぐ反復。自分のパターンを覚えた人工知能が存在すればだいぶスムーズに作業できるのでは？ と思います。そんな時が来ることを夢見て今日もアナログに鉛筆を握りしめて絵を描いております。」

また本作には、人工知能学会になじみの深い人工知能研究者のトップランナー四人がAI監修に入っているのも特徴です。アトムを見て研究者となったあとに、新しいアトムの物語の監修をするなんてロマンがありますね。

3. カバーイラストご紹介

Blu-ray は第1巻（第1～6話収録）

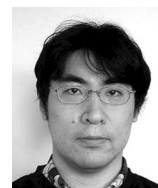
が8月23日（水）に、第2巻（第7～12話収録）が10月4日（水）に発売されます。第1巻のボックスの表紙は大学のキャンパスの中で同じロボット開発の夢を追う天馬とお茶の水、二人の様子が描かれています。その後をA106がまるで人間のように連れ添って行きます。こちらは原作者のカサハラテツローさんの手によるものです。二人の科学者は対照的な性格で、天馬博士は自由奔放な天才型、お茶の水博士は優しい協調型の性格で、ときには喧嘩をしますが、お互いを強烈に刺激しながら、新しい時代を築いていきます。研究者の皆さんにも、そんなライバルであり友である方がおられるのではないのでしょうか？

第2巻はラボの中でまさにA106に二人が命を吹き込もうとしているところです。実際、A106はとてもパワフルで力仕事や文化祭では調理などもこなしますが、研究段階のロボットで何度も壊れてしまいます。その度に二人は研究費を他の研究室との争いで勝ち

取ろうとしたり、アルバイトをしたりして、なんとか捻出して再び組み上げて知能を宿らせていきます。天馬博士もお茶の水博士も原作では世界的なロボット学者になりますが、これはそんな二人の苦しくも楽しい青春時代の物語でもあるのです。

2017年6月12日 受理

—— 著者紹介 ——



三宅 陽一郎（正会員）

株式会社スクウェア・エニックステクノロジー推進部リードAIリサーチャー。今年は人工知能学会誌編集委員として本誌の表紙を担当する。日本デジタルゲーム学会理事、芸術科学会理事、国際ゲーム開発者協会日本ゲームAI専門部会代表。

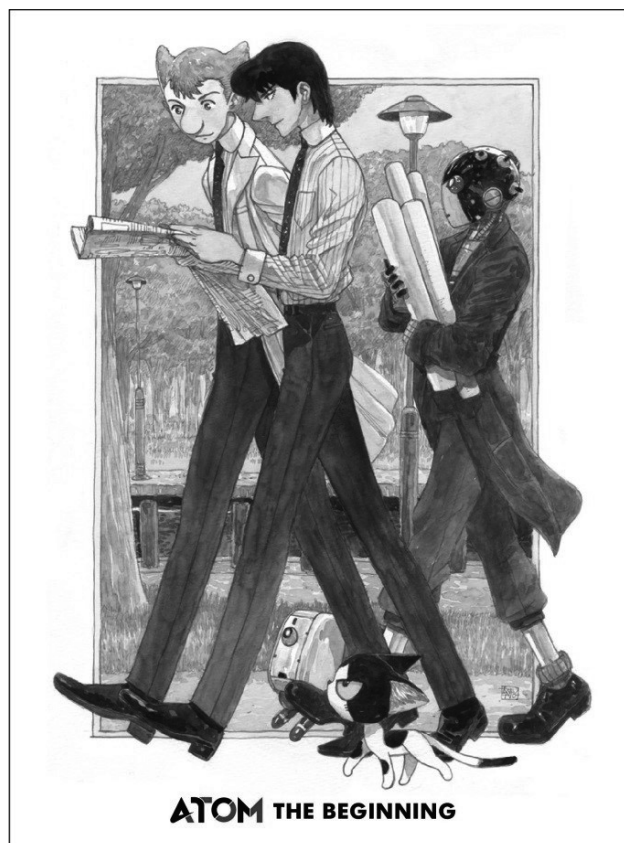


図2 Blu-ray 第1巻の表紙（8月23日発売予定）
（カサハラテツロー氏による収納BOXイラスト）

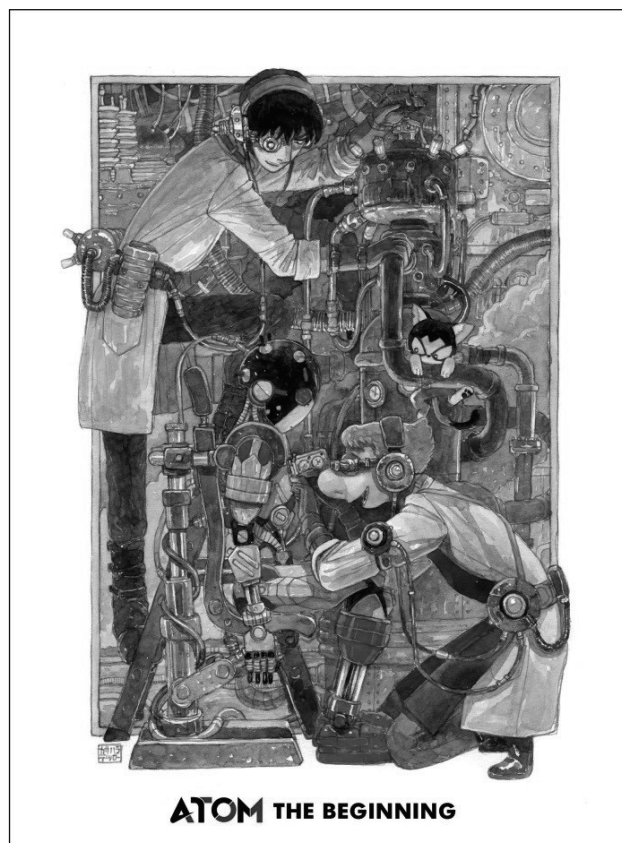


図3 Blu-ray 第2巻の表紙（10月4日発売予定）